

「けいはんな学研都市」を引っばる新進企業のひとつ、「スプレッド」を紹介。5月に行われる「メイカーフェア京都」の情報もお届けします。

未来を見据えて

SUSTAINABLE FUTURE

ロボットと人の協業で野菜を作る

株式会社スプレッド テクノファームけいはんな



みずみずしいフリンジレタスはサラダにぴったり

「テクノファームけいはんな」のレタスの生産力は1日あたりおよそ3万株。LEDの照明を使い、水、温度湿度を完全にコントロールして、栽培に最適な環境を作り出しており、種まきから収穫までの期間は約33日。1年に11回の収穫が可能だと言います。

「もともと弊社グループでは、青果の流通業を手掛けていました。社長は農家さんと話す機会が多く、農業がいかに重労働であるかを実感。日本の農業力を底上げし、未来の子どもたちに高品質な食料を供給するために何が必要かを

考え、植物工場を開発しました。」(広報部 岡井良文さん) 栽培されているのは、フリル、ブリーツ、フリンジ、ロメインの4種類のレタス。重労働である収穫をはじめ、約7割の工程が自動化されています。

工場長の大岩直弘さんは言います。「人が入らないことで、衛生環境を守るというメリットもあります。害虫も存在しませんから、もちろん無農薬。とはいえ、検品には人の目が不可欠。人と機械のタイミングをあわせて収穫しないとイケませんし、働く人のスキルも大切です。」試食させていただくと、葉がやわらかく、芯の部分にはほんのりとした甘みが。苦みやアクが一切なく、やさしくて素直な味わいです。「うちの子どもたちも、毎朝食べています。フリンジレタスは、芯をとるだけで食べやすいサイズになるので、時短サラダにもぴったり」と大岩さん。



「けいはんな学研都市」生まれの新しい“地場野菜”です。



天井近くまで栽培棚が。スタッカークレーンがレタスを棚パネルごと収穫する。

テクノファーム けいはんなのレタスはここで買えます!

- ・アル・プラザ木津店
- ・フレンドマート木津川店
- ・イオン高の原店

*店舗によりパッケージデザインが異なる場合があります。

MADE IN LOCAL



レタスの五角形をモチーフにした工場内にて



(左から)
工場長 大岩 直弘さん
広報部 安藤美菜子さん
岡井 良文さん

なぜ「けいはんな学研都市」に?

当社の植物工場は、マンションの一室での実験から始まりました。亀岡プラントに続く新工場の場所に学研都市を選んだのは、京阪神エリアへのアクセスがいいこと、様々な企業と共同で技術開発ができることが理由です。工場ではパートさん 1日あたり40~60人の方にお世話になっています。実は私は木津川市出身。市内のお店でも販売していますので、ぜひ地元の方にも食べていただきたいです。

広報部 岡井良文(おかいよしふみ)さん



Pick up Event

この春の注目イベント!

けいはんな学研都市に
多彩な“ものづくり”が集合

Maker Faire® Kyoto

2006年に米国・サンフランシスコではじまり、東京やローマ、パリ、深圳などでも開催されているMaker Faireが「けいはんな学研都市」でも開催されます!

MAKERS

AIなどの新しい技術から生まれたモノや活動を、さまざまな企業・団体(メイカー)が紹介します。キッズ・エデュケーション、ロボティクスなどのゾーンがあり、実際に体験できるブースもたくさん。



木津川市からは、木津川アート、当尾oh!BaaaaaZなどが出展します。大人も子どもも満足できる、楽しいイベントです!

【地元出展】

木津川アート

2020秋・瓶原地区で開催!
わがまちの芸術祭を体感できる

木津川アートの歴史や作品、木津川アート2020の楽しみ方、瓶原地区のおもしろ小話を紹介。作品紹介はもちろん、木津川市ならではのプチアートワークショップも行います!

〈ワークショップ内容〉

- ◎ 木津川市の伝統産業「京織襖紙」を使った動物ブローチづくり 1回 800円
- ◎ ポリマー粘土でつくる「にぎり仏」 1回 800円



【地元出展】

当尾oh!BaaaaaZ

“当尾”地区を盛り上げたい
美魔女5人が地元の味を披露

“幻”の当尾ごぼうをはじめ、味の良さで知られる大根や新鮮野菜を会場内で販売。当尾ゴボウとこんにやくを使ったオリジナル寿司作りにもチャレンジできます!

- ◎ 当尾ごぼう巻き寿司を作ろう 1回 500円 (1本・持ち帰り)



〈販売〉

- ◎ こんにやく田楽(らぼつ型・四角型) 200円
- ◎ ごぼう巻き寿司 400円
- ◎ 乾物加工品・地元野菜 200~300円/袋



今年のG.W.は
メイカーフェアへGO!!

- 日時 5月2日(土)12:00~18:00
- 5月3日(日)10:00~17:00

※入場は終了の30分前まで

- 場所 けいはんなオープン
イノベーションセンター(KICK)

【主催・問合せ Maker Faire Kyoto事務局】((株)オライリー・ジャパン内) 電話 03-3356-5227
チケットはコンビニ等で販売。詳細は <https://makezine.jp/event/mfk2020/>

アクセス

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)
<http://kick.kyoto/access/>

入場料

前売/大人 800円・18歳以下 300円 ※未就学児は無料
当日/大人 1000円・18歳以下 500円



Maker Faire Kyoto 2020

Event Information

木津川市内で行われるイベント情報をお届けします!

もってけドロボー 蚤の市

2020年5月11日(月)~29日(金)
時間: 10:00~17:00
※土・日を除く
場所: 木津川市情報発信基地キチキチ
2F 踊り場



子ども服、不用品古道具
などなど全て無料です。
tel: 090-6607-9191

~カラフルなふわふわの紙を使って~
「にじいろの森をつくろう」

にじいろの森 こども講座 (アート編)

2020年5月30日(土)
時間: 11:00~11:30 講座
11:00~12:00 交流会
場所: 木津川市情報発信基地キチキチ
1F 相談室
対象: 未就園児親子10組 費用: 1,000円
tel: 090-6607-9191



TOPICS

話題のわがまち情報!

ママグラファーによる写真展 catch a smile

2020年5月11日(月)~29日(金)
時間: 10:30~16:00
※土・日を除く
場所: 木津川市情報発信基地キチキチ
1F キチキチカフェギャラリー

「2月に開催された第一回ママグラファー講座で撮影された“ママだから撮れる子どもの写真”を展示します。」

企画: およこスタジオ peekaboo 岡田貴子

2月4日に開催された
ママグラファー講座の
発表展です!!



〈編集後記〉

木津川市ってひとりでどんなまちだろうと考えたのが始まりでした。編集・取材を通じて、気づいたのは木津川市には「未来がある、土がある、暮らしがある」ということ。未来へ続く暮らしの中で、それぞれの分野に携わる人たちが、クリエイティブなマインドで活動することでこのまちが作られていることを強く感じました。jiwajiwaiは、これからも「人が魅了されるまちを動かすのは人」ということをテーマに、地域の魅力を内外に発信していこうと思います。